

令和5年度（第12期）事業計画書
（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

1. 第11回奨学生の採用決定（5月予定）

（1）新奨学生を採用することとし、当財団奨学生選考委員会で決定する。

新採用大学院生 19名程度

（2）給与奨学生（1名/月 40,000円支給）

第10期 大学院修士課程奨学生（19名）

第11期 大学院修士課程奨学生（予定19名）

2. 理事会及び評議員会の開催

【理事会】

□ 令和5年5月24日（水）に書面決議を予定
（予定議案）

- イ. 事業報告（案）及び決算（案）の承認
- ロ. 補正予算のある場合、承認
- ハ. 評議員会（6月16日）開催決議

□ 令和5年7月8日（土）にスイスホテル南海大阪で開催予定
（予定議案）

- イ. 次年度募集要項の検討、承認

□ 令和6年3月9日（土）にスイスホテル南海大阪で開催予定
（予定議案）

- イ. 事業計画、及び予算の承認

【評議員会】

□ 令和5年6月16日（金）を丸一鋼管株式会社本社会議室で開催予定
（予定議案）

- イ. 事業報告（案）及び決算（案）の承認
- ロ. 補正予算のある場合、承認

□ 令和6年3月9日（土）にスイスホテル南海大阪で開催予定を予定
（予定議案）

イ. 事業計画及び予算の承認

3.第10、11期 奨学生テーブルマナー講習会

（令和5年7月8日（土）開催予定）

第3回テーブルマナー講習会をスイスホテル南海大阪で開催する。

これから海外への展開も含め、幅広く活躍するであろう奨学生にテーブルマナーを習得してもらう機会として講習会を実施する。

4.奨学生の集い

（令和6年3月9日（土）にスイスホテル南海大阪で開催予定開催予定）

在籍奨学生のほか、理事、監事、評議員及び選考委員を含めた集いの会を開催する。会では事務局が提示したテーマ（例えば「気候変動」「ジェンダー」「貧困問題」）でワークショップを行い、学生同士の親睦、結束を深める機会とする。

また、社会で活躍する理事、監事、評議員及び事務局との交流を通じて自己成長を促す。

なお、本年卒業奨学生には、財団卒業生であった証として財団名を刻印したUSBメモリーを贈呈する。

5.工場見学会の開催

（令和5年9月14日（木）開催予定）

11期生を対象に、7回目となる工場見学会（丸一鋼管株式会社堺工場）を計画する。

自らの専門分野だけでなく、鉄鋼企業の製造現場を見学することで、社会の知見を広める一助となることを目的とする。

6.奨学生に対する個別指導、助言

必要に応じ、奨学生から近況報告を受けるとともに、相談があれば個別に応援、助言を行う。

昨年度は、海外留学に伴う相談が寄せられ、事務局で対応した。

7. 現役、卒業奨学生との交流

HP「奨学生の輪」を閉鎖したこともあり、現状、交流手段が提供できていない。卒業後のメルアド報告をお願いしているが、連絡網として充分とはいえない。交流手段としてフェースブック等を活用した現役、卒業奨学生の交流を検討する。

以上